

会報

うでまくり

F J P

福島県女性経営者プラザ

女性経営者から始めよう。

福島をどうする気？



福島県女性経営者プラザ

会長 三田 公美子

あの東日本大震災、とくに福島県にとつては、あつてはならない東京電力福島原発被災から、丸三年になります。

大阪の友人から「しかし福島の人は我慢強いよね。大阪だったらとつとくに暴動が起きていまっせ」と誉められているのか、馬鹿にされているのかよくわからないことを言われます。

そう言われればそうです。復興どころか、今だに先は見えないし、風評被害は根強く残っているし、そのくせ風化は進む一方だし。総理も東京オリピックを隠れみのにして、アンダーコ

ントロールと国際的な嘘を言うし。ここで暴れなきやいつやるの？私にもモヤモヤするのですが、だからといって、一気呵成に暴動やムシロ旗にはならないのです。

どうしてなんだろう、友人が言うように、福島県民は日本一忍耐力があるのか、といえは、近くの県民たち、おつきあいのある人たちを見ても、とくに傑出しているとは思えません。じゃ何故なのか、珍しくも沈黙考いたしました。

何となく見えてきたのが、「3・11の啞然・茫然がそのまま続いている」というコロナブスの卵みたいな回答な

- ◆ F J P の目的 ◆
- ① 女性経営者としての資質向上
 - ② 次の女性たちのための風土づくり
 - ③ 共同事業の開発
 - ④ 地域・社会への貢献

のです。いちどきにたくさん人の啞然・茫然が起きて、その一つ一つに向い合い解決するイトマもなく、啞然・茫然がエンドレスに続き、私たちは一種の感情喪失になってしまったのかもしれません。怒るより先に悲しんでしまうのが癖になりました。

福島県では丸三年を迎えた三月、震災の直接死の方より、その後の関連死の方の数が多くなりました。これつてもものすごく悲しいことで、しかも国や行政、東電へ、怒りをあらわにすべき大ごとだと思えます。

しかし、報道も淡々としていればそれを聞く私たちも、諦めのように受け入れています。(私も含めて)

我慢とあきらめはちがいます。あきらめからは何も始まりません。とくに女性はあきらめが悪いのが特性ですから、せめ

● うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。F J P、女の腕まくりの真価はこれから！という意味も

て私たち F J P の同志は、今こそ立ち上がり、声を発しましょう。

みんな、福島をどうする気だあ!!



玄田有史先生と記念撮影

昨年十月に入会をさせて頂きました。これまで定例会、講演会、年明けの新年会と出席させて頂きました。が、本当に皆様方の志の高さと熱い団結力に圧倒されました。充実したお時間をいただいた気が致します。



女性の団結力を

野地 千尋



会員が日頃考えていることや仕事のこと、活動の様子などを「思い」として綴っていただきました。例会では見られない一面もあります…お楽しみに

私もこれから色々と教えて頂き、一日一日を大切に過ごして行きたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

F J P に入会して

野尻 真砂子



私も六十歳を迎え、老後のこと、年金生活のことなどを考え始めました。そんな折、F J P の会員の皆様のこと、事業内容などを会報で知りました。

誘われるまま F J P に入ってしまったが、正直、これはたいへんな会に入ってしまったと思えました。会員の皆様がすばらしい方ばかりで、前向きにがんばっている女性のパワーに圧倒されてしまいました。

私は、事務職が主で外に向かったの行動がなく、果たして会についていけるか不安です。自分も勉強を怠っていたのではないかと今更ながら反省させられました。

六十の手習いではないですが、会員の皆様についていけるよう F J P で勉強をしていきたいと思えます。

人とのつながりを大切に

吉田 陽子



東日本大震災から三年が経過しました。福島は原発の問題を抱えて今もまだ復興の途上がありますが、一日も早く安らかな日が戻る事を願うばかりです。

この震災では「人の絆」と「強調・協力」の大切さを改めて教えられました。私は昨年十一月に F J P に入会させて頂きましたが、この体験をバネにして、会員の皆さんと共に少しでも社会に貢献できる事を実践していきたいと思っています。

次号は、F J P 創設二十周年にあたり、「今までを振り返っての思い」などを掲載していきます。おたのしみに！

平成25年度定例会

後期活動報告

10・18 公開講演会

郡山市民文化センター

第一部 講演会

「希望学の視点から若者の人材育成について」
講師・玄田有史氏

(東大社会科学研究所教授)

第二部 パネルディスカッション

・鈴木宗稔氏
(丸木屋工務店代表取締役)

・山口松之進氏
(郡山観光運輸(株)社長)

・山本欣子 (F J P 会員)
・コーディネーター 三田公美子会長

11・10

移動例会「もう一度日光」
(栃木県日光市)

・研修会 日光市役所
(日光ブランド戦略室)

・講演会

鬼怒川グランドホテル社長

波木恵美氏

「インバウンド観光と地域活性化」

各委員会活動

H 12

新年会 二本松市岳温泉

陽日の郷あづま館

2・18

定例会 会員に聞く (本宮市)
「気ままにトーク」大雪で中止

3・11

まとめ例会
福島市ウエディングエルティ

新年度の計画

公開講演会

希望学の視点から 若者の人材育成について

講師 東京大学社会科学研究所教授 玄田有史氏

講演会の前は、ニートのイメージの悪さもあり、私も偏見を持っていました。若者の就職問題というと、フリーターや失業者のみに注目が集まる中で、私もニートの存在を少し考えて見る良い機会になりました。社会の入り口で立ち止まってしまった者がニートであること！働きたくても働けないことからくる「あきらめ」に近い状態があること！そして、人づき合いなど社会生活をうまくやれる自信のないこと！など、ニートとは、ただの怠け者という考えでいた私は、少し反省させられた講演会でした。

講師の玄田氏の「希望学」という本も読みました。私が「ここぞ！」という所は、『幸福と希望は、気持ち次第で、同じようなものと考えがちだが、まったく別のものである。幸福は、このままの状態が続いてほしいと思う維持や継続を求めるもの。希望は、将来や未来の事を考える事で、変化と関連しているとのこと。停滞する社会に求めら

れている良い方向に向かっていると確信できることが希望である」と、玄田氏は考えています。「希望学」についても、話を聞きたいと思いました。最後に、玄田氏って、えっ！何とも今時の人なの!!と、ビックリ。特に食事会の時の気さくな語りなど…大変に楽しい人でした。

(文・高橋恵美子)

※「ニート」と「希望学」の本を所有しています。読みたい方は交流広報部までご一報ください。



■ FJP 会員 企業紹介 ■

郡山トラック運送株式会社

代表取締役社長 上石美代子

【事業内容】

- 一般貨物自動車運送事業
- ・食品、家具、家電配送
- ・引越（ハトのマークのひっこし専門）
- ・一般、産業廃棄物収集運搬

【経営者として思う事】

Touch the mind 出会いから、豊かな明日を生み出す手から手へ、温かいところを届けて60年。これからも皆様に必要とされる会社、スタッフでありたいと思います。

Heart - Warming "Guntora" Since 1952

【FJPについて一言】

毎月の例会で、学んだり、リフレッシュしたり、私にとってとても大切な時間です。会員の皆様の経営観、人生観そしてお人柄にふれて勉強させていただいたことが、私の宝だと思っています。

〒963-0547 郡山市喜久田町卸3-11
Tel024-959-6680 Fax024-959-6658
<http://www.koriyama-truck.co.jp/>

有限会社 未来テレトピア

専務取締役 安斎恵美子

【事業内容】

- ・ドコモショップ
- ・NTT東日本代理店
- ・デジタルプラザ（印刷・プリントショップ）

【経営者として思う事】

日々の仕事における知識と、人と人とのふれあい「接客」という仕事を通して社員の向上心を高め続けていくことで「ここで働いてよかった」と喜んでもらえるような会社になりたい。社員とともに社会に貢献できるような活動もしていきたい。

【FJPについて一言】

志が高く成長意欲のある女性経営者が集結した会だと思っています。会の活動を通して、経営者として又、人間としても成長できたかなと思っています。皆様のパワフルで素敵な笑顔に出会うたびに元気をいただいています。

〒964-0906 二本松市若宮2-163-1 (NTT二本松ビル1F)
新宿支店：〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-12-1
サンパレス新宿1208号
Tel 0243-22-8444 Fax0243-22-0668

『もう一度日光!』

— F J P 移動例会(視察旅行) —

古川 節子



晩年の尊徳の像はあまり知られていない

一昨年の滋賀県訪問に続き、F J P 移動例会視察旅行は、昨年十一月十七〜十八日に実施されました。旅のタイトルは「もう一度日光!」。郡山〜日光、百五十キロのバス旅行でしたが、車内はおやつが行ったり来たり：お喋りにも花が咲きました。紅葉のピークは過ぎていましたが、僅かな名残りを楽しみながらまず最初に訪れたのが、学問と経営(商売繁盛)の神様二宮金次郎(尊徳)を祭る報徳二宮神社。晩年の尊徳像に手を合わせるF J P の面々(商売繁盛……)

昼食後はいよいよ徳川家康公をお祀りした世界遺産・日光東照宮へ——美しい彫刻や極彩色豊かな重要文化財、国宝に触れ、東照宮の三彫刻と呼ばれる眠り猫・三猿・想像の象など、改めて興味深く見て回りました。その後二荒山神社を経て一路日光金谷ホテルへ。ここでは日光市(日光ブランド戦略室担当者)との研修懇談会。美味しいケーキと珈琲をいただきながら、活発な意見も飛び交いました。



へへへ、熱心に話を聞く F J P メンバー

夕刻、鬼怒川グランドホテル夢の季にチェックイン。ここでのメインは波木恵美社長の講演——「インバウンド観光と地域活性化」というテーマで本当に貴重なお話を伺いました。女性でありながら、並々ならぬ苦勞を乗り越え、今のホテルがある……という話に、

時を忘れて聞き入る F J P メンバー。続く食事会と交流会の盛り上がりは押しして知るべしというか、恐るべしというか……。



波木社長(右から3人目)と記念の一枚!

翌日は、いろは坂を上り、お猿さんで有名な明智展望台で一息。昼食は中禅寺湖のほとり、美しい自然の中に佇む中善寺金谷ホテルでのランチに舌鼓。仕事から離れ、幸せ笑顔いっぱいひとときを過ごして帰路へ——。

一泊二日の日程の中で二回の研修交流会とはさすが F J P。その上二ヶ所ある伝統深い金谷ホテルでも抜け目なくティータイムとランチ：時間とチャンスを無駄にしない F J Pらしい良質の視察旅行となりました。次回もよろしくお願ひします。

— 各委員会から —
25年度を終えて

《総務委員会》

委員長 安齋恵美子

今年度の総務委員長としての目標「目配り・気配り・心配り」を掲げ、さあ「やるぞ!」っと思っている間にもう今年度も終わりです。こんな意気込みだけの私を皆様が温かい気持ちで支えて下さり有難うございました。各委員会がそれぞれの役割を果たしながら、協力しあい、すばらしい連携プレーで進行できたと思います。

囁めば囁むほどスルメのように味がでてくるいぶし銀の仲間が集まる F J P。「日本に富士山あり、福島に F J P あり」と、福島県内外に広められるよう、その一端を担えればと思っております。

《事業委員会》

委員長 佐藤 和江

「花を咲かそう!」をテーマに、希望学の玄田先生の公開講演会を山場に、移動例会や定例会等、盛り沢山、中味の濃い内容で進めることが出来ました。皆様に感謝申し上げます。二月の定例会は、まさかの大雪で中止と



会員の有する柔軟性と強さ、地域貢献意欲がFJJPの資源

いわきテレワークセンター 会田 和子

私がFJJPに入会したのは、二〇〇四年秋に三田会長と久方ぶりに再会したのがきっかけでした。その頃の私は創業十年目を迎え、事業経営や今後の福島進出に迷っていて、会長からの鋭い質問にも明確に答えられないような状況でした。しかし、優しく暖かい励ましと具体的かつ的を射たアドバイスに、すこぶる元気になったのを覚えています。数日後、迷うことなく入会しました。しかし、特別、明確な目的や狙いがあったわけではなく、会長に弟子入りするという位の軽いノリでした。地域のネットワークに入会する動機や目的は、それぞれ異なると思います。よく入会を案内すると、「どのようなメリットがありますか」と聞かれます。この質問が一番苦手です。私自身、元の商工会議所や法人会等はおつきあいと割り切っていますし、当社の事業と関係する団体には、高い会費でもコミーシャルと思って活動しています。全くボランティアで関わるネットワークもあります。

私にとつて、FJJPはおつきあいでもないし、ボランティアとも違う、何か計算できない「目に見えない効果」と考えています。ただ一つ明確なのは「県内女性経営者のネットワークに帰属している」。誇りを忘れずにいたいということなんです。三田会長の価値軸や地域全体を俯瞰したイノベーションへの判断能力、会員の皆さんの地域を愛する心や打算のない行動力は、帰属して初めてわかることであり、長い間には信頼感に変わります。会員の数だけ人生があることがわかり、腕まくり経営や生き方を学ぶことができる。私にとつて、FJJPは人生学校で、未熟さを知り人間力を高めてくれる場所と思っています。しかしながら、会合の日時は間違えるし、自分の役割は見失うし、私自身は大変迷惑をかけています。時に、「いい加減な自分に失望し、「辞めようか」という思いにかられます。そんな心理状態していると、「やれる時にやれること」とをしっかりとやらねばいい。会員でいて

くれるだけで嬉しいのだから」と、さりげなく誰もがやさしい声で、囁いてくれます。密かに感動した私は、「交流・広報委員会」を選んで「顔の見える交流」を楽しむことにしました。滋賀県視察では、知事から「地域に貢献する活動をしていて素晴らしい」と称賛され、震災後再会したアサヒビール福島工場見学の際「皆さんの迫力に勇気づけられます」、昨年十一月の日光視察でも、波木社長から「長く交流しましょう」と実に好意的でありました。各方面からのお褒めの言葉は、会員相互の信頼力に対する評価です。変化に対応できる柔軟性、3・11の苦難も乗り越える強さ、地域に貢献しようという熱い意欲、これらは、会の存在価値を高める重要な資源です。FJJPにはこれらが着実に蓄積され育っていると思います。みなそれぞれ個性的で、少々の困難にはめげない強さをもって、いるし、一度くらいは失敗で夢を諦めていないし、宴会のノリは半端じゃないし、共通して気配りがあり、頼もしい――FJJPは女性経営者にとつて県内唯一の貴重なビジネスネットワークです。今後は、FJJPのメリットは「会員です」と断言して、新規会員の増強を図っていききたいと思っています。

なり残念でした。

二十六年度は東日本大震災から三年経過して、次の時代に新たなパワーを生み出したいですね。無縁社会から大人の絆社会へ!!

事業委員として、全ての事業が楽しく、経営者としての欲求が満たされる内容を皆さんで創り上げていきましょう!!

《交流広報委員会》委員長 横山りつ子

多忙な毎日を過ごしている会員達。その中で毎月の定例会は楽しみの一つです。会員の笑顔と気力に押され、私も効率よく仕事に取り組みなくちゃと実感させられます。

そこで、多くの会員から同じ言葉を聞きます。社員を募集しても良い人材が集まらない。何が原因か、震災以後の生産人口の流出、若年層の人口減、又、働く意欲を持っていない人口が増えたのか、環境を整えた働きやすい職場づくりを目指しているFJJPの会員にとり嘆かわしい事です。

でもFJJPの真価は、逆境であれば女のでまくりでますます真価を見せるはず。今年も見えて下さい。



★定例会 Pickup★

2013.10.1~
2014.3.31

公開講演会 2013.10.13
郡山市民文化センター



玄田有史氏



コーディネーター
三田会長



パネルディスカッション



日光市ブランド戦略室との意見交換

移動例会

もう一度日光!
2013.11.10 ~ 11日



新年会

陽日の郷あづま館
2014.1.16 ~ 17



三田会長
年頭の挨拶



佐賀会員の祝舞



日光東照宮 三猿
見ざる、言わざる、聞かざる



鬼怒川グランドホテル 波木社長の講演



FJPのアイドル
あまちゃん? おばちゃん?

まとめ例会 2014.3.15
ウエディングエルティ



●編集後記
あの日：震災、原発事故から丸三年。
私たちがこの瞬間を生きていることが当たり前ではない今に感謝！しっかりと生きなければ。そしてやらなければならぬ事は「仲間づくりの拡大」であり「強い日本、いやFJPであります」巡り来る季節、今年も故郷の大地に桜は咲き誇り人を魅了するでしょう。負けねえで会員の花を咲かせつべ!

(Y・I)

http://fjp-net.com/

●ホームページが新しくなりました
FJPのホームページが一新されました!!
皆さん、どんどんアクセスしてください。

